

平成28年度

いわて健康経営アワード

全国健康保険協会(協会けんぽ)岩手支部では、加入者の健康の保持増進を図るために、岩手県、各経済団体、企業等と連携して「いわて健康経営宣言」事業を実施し、健康経営の普及を目指しています。また岩手日報社と開催した「いわて健康経営アワード」にて表彰された事業所を紙面で紹介いたします。

『健康経営』って何!?

社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む企業経営のスタイルのことです。



(株)山下組 (株)グリーン・ライフ

~健康づくり推進企業紹介~ Vol.2

代表取締役社長 菅原 陽一
花巻市上根子字石川原78番地1

協力会社も含め一丸で健康づくり

いわて健康経営アワードで優秀賞に選ばれた建設業の山下組、関連会社で運送業のグリーンライフが、社員の健康づくりで取り組みの柱にしているのが健康診断です。通常の健診のほか、2013年には会社負担で全社員が脳ドックを受診。昨年は同様に全員が人間ドックを受けました。さらに、二次



協会けんぽ岩手支部の保健師による健康講話

検診・精密検査の受診を促し、年々受診率も向上しているということです。

山下組は、震災被災地など県内外の現場に長期間赴任する社員も数多くいます。そういった社員に対しても、菅原社長自らが定期的に現場に赴き、朝礼などで健康づくりを呼び掛けています。また、協力会社の作業員にも同様に声掛けし、現場全体で健康管理の大切さを共有しています。

同社では健診以外にもさまざまな取り組みを進めています。毎朝の血圧測定のほか、協会けんぽ岩手支部の協力で2年間発行した「ハピネスプラスワン新聞」は、「ハピネスプラスワン健康通信」として独自に情報発信を続けています。スマールチェンジ活動についても、個々に目標を設定し取り組んでいる社員が多いとのことです。



さらなる取り組み充実を誓う菅原陽一社長(右)

企画営業部の平賀美香さんは「社員の健康に対する意識が高くなり、体調不良で休む社員が以前より減っているように感じます」と、取り組みへの手応えを語ります。菅原社長は「病気になってしまえば会社は何もできない。社員が健康で年を取れるよう、協力会社も含めてやれることはやりたい」と力を込めます。

次回の優良な取り組み事例は3月3日(金)の紙面で紹介します。

■主催/



全国健康保険協会 岩手支部
協会けんぽ

盛岡市中央通1-7-25 朝日生命盛岡中央通ビル2階
TEL 019-604-9009代/FAX 019-604-9117

■協賛企業/



伊藤園

■後援/岩手県・岩手県商工会議所連合会・岩手県商工会連合会・岩手県中小企業団体中央会・
一般社団法人岩手県経営者協会・一般社団法人岩手経済同友会